



五中だより

府中市立府中第五中学校

校長 酒井 泰

令和2年9月30日 No.9

水害への備え

8月24日(月)に2学期が始まり、約1か月が経ちました。始業式は放送により行われましたが、生徒に「水害への備え」という内容の話をしましたのでご紹介いたします。

「本年度本校は、府中市総合防災訓練(避難所開設訓練)の会場となります。そのことも踏まえて、本日は、皆さんに防災への備えについてお話しします。先週は、台風9号に続いて10号とたて続けに大きな台風に見舞われました。今回の台風は、沖縄や九州地方へ大きな影響を及ぼしましたが、これからの台風シーズン、いつ東京を直撃する台風がやってくるかわかりません。覚えている人も多いと思いますが、去年は台風15号そして19号と関東地方に台風が来て、大きな被害が出ました。特に19号では本校は屋上庭園に溜まった雨水が校内に入り込み、2階から1階が水浸しになるという甚大な被害を受けました。つい、その被害とその修復工事に目がいってしまうのですが、実は、その19号の来襲の時、多摩川が氾濫する危険が高くなり、多摩川の近くにお住まいの方が、本校に避難し、一夜を明かしていたのです。本校は、災害の発生に当たっての避難所の役割を担うことになっています。当日避難された方は、14名でしたが、本校のアリーナで不安な夜を過ごされました。本校は地震等の災害時には、アリーナと武道場が避難所として開放されることになっています。そして、台風などの水害の場合には、多摩川付近にお住まいの方々の避難場所としてアリーナと武道場、そして東校舎の各教室が開放されることになっています。

地震と台風などの水害の時の避難所の役割の違いは、避難所を開設する時期です。地震は地震が発生してから、自宅等が壊れ、生活ができない方々を受け入れるのですが、台風等の水害の場合は、水害が発生しそうで危険なので避難するということですから、水害が発生する前に受け入れるということになります。そのため、台風などで水害の発生が予想され市民の避難が必要と判断された時には、学校は避難してくる人たちを受け入れる準備をしなければなりません。少なくとも台風が来る1日前に判断されることになります。今、府中市には26万人以上の方が住んでいます。府中市の中で見たときに比較的低い土地や多摩川に近いところに住んでいる人が約8万7千人いると言われています。それだけ多くの人々が避難することになるので、数多くの施設が避難所として開設されたとしても、それぞれの避難所には、相当多くの人々が押し寄せることが予想されています。もちろん、本校だけでなく、府中第六小学校も新町小学校も同様に避難所になるのですが、本校のアリーナと武道場、東校舎の教室だけでは足りないことも予想されます。その際には、皆さんが今、勉強している教室も避難所として使われることもあります。学校が再開されたときに教室が不足することがないように必要最低限の教室は確保することになっていますが、人の命を救うことが第一ですので、その時の判断で開放することもあります。

本校をはじめ、学校が避難所になるような災害が起こらないことを祈りたいのですが、災害はいつやってくるかわかりません。発生した時の心構えの一つとしてお話ししました。さて、今回の台風10号で、家族の方々と万が一の時に備え、避難する時の持ち物や万が一が家族が離れ離れになった時に落ち合う場所について確認し合った人もいますと思いますが、ぜひ、この機会に確認してほしいと思います。」



前期学校評価について

1学期末に実施させていただきました前期の学校評価アンケートの結果をご報告いたします。3学年分をまとめた学校全体の数値として掲載させていただきます。すでにご案内の通り今回は、保護者の皆様からのご意見・ご要望等につきましては中止させていただいております。

ます。生徒からの評価ですが、今回の学校評価の結果を今後の教育活動の改善及び一層の充実に役立ててまいります。

2学期の学校行事について

新型コロナウイルスの影響により今学期予定されていた学校行事も中止や変更を余儀なくされています。すでにご案内の合唱祭については、中止といたしました。3年生のみ音楽の授業でクラスの合唱を完成させる準備をしています。完成した合唱を保護者の皆さまに見ていただくことはできませんが、映像は本校のホームページ内の「学校ブログ」にアクセスしていただくことでご覧いただけるようにすることを計画しています。また、専門業者によるDVDの作成や写真撮影も行います。これらは、これまでの学校行事と同様に希望される方には別途ご購入いただけるようにしたいと思います。詳細は改めてお知らせいたします。

さて、11月27日（金）に予定しています1年生の校外学習ですが、例年は「上野・浅草・東京・有明・お台場」等の都区内の名所・旧跡や博物館等を班行動で巡ることを計画していましたが、往復の交通機関等の「密」を避けるため、訪問する方面を変更し、府中市を含む近隣市での班行動として実施いたします。生徒の安全を第一に考えた判断ですのでご理解をいただきますようお願いいたします。詳細は、後日学年からご連絡申し上げます。

生徒会役員選挙が行われました

令和2年度後期からの生徒会本部役員を選ぶための、演説会及び投票が9月25日（金）6校時に行われました。今回は、新型コロナウイルス感染防止のためにアリーナで全員が集まるの立会演説会ができず、各教室で立候補者の顔写真をプロジェクターで映し、演説は放送を使ってという形で行われました。初めての試みでしたが選挙管理委員会の努力のおかげで滞りなく演説会を行うことができました。新しい五中のリーダーを目指す1・2年生の立候補者たちからは、五中を一層良くするためには、「生徒の意見をより反映するために意見箱を活用する」「あいさつがあふれる学校をつくる」など、今後の学校生活の目標が示されました。新しく生徒会本部役員になった生徒、その後の委員会で各種委員会の委員長や副委員長となった生徒の今後の活躍に大いに期待したいと思っています。



ペットボトルキャップの回収について

今年度、生徒会本部では「ペットボトルキャップを集め、発展途上国の子供にワクチンを届けよう」という取組を行いました。これは昨年度に行われた「ラグビーワールドカップ記念おもてなし事業 キーホルダーの配布」と「いじめ防止 ピンクシャツデー」の取組に続く第3弾の活動でした。全校生徒が家庭で使い終わったペットボトルのキャップを持ち寄りました。実に165kgとなり、約83人分のワクチンになるそうです。毎回、生徒の発案で様々な取組が行われ、それぞれ大きな成果を上げています。生徒の自主性を生かした取組がますます盛んになり、ボランティア活動に積極的に取り組むことができる生徒に育ってほしいと思います。

ICT機器の整備について

今年度に入り、ICT機器を活用した教育活動が本格的になってきています。すでに1学期末に「eライブラリの活用」についてご案内し、小学校1年生から中学3年生までの9年間の全教科の教材を使って学習できるようになっています。また、ご家庭でのICT環境を整えるためにタブレットやルーターの貸し出しも実施しました。

さらに今学期に入って、教室に「電子黒板機能付きプロジェクター」が設置され、様々な映像教材やプリント教材等を活用した授業が行われる環境が整備されてきています。教科等により活用の頻度や内容に違いがありますが、積極的にこのICT機器を活用し、生徒の理解を進め、学習内容の定着を図っていききたいと思います。